

## Characteristics and prognosis of stroke in living donor renal transplant recipients

掲載雑誌：Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 2021. Online ahead of print

著者：Takafumi Mizuno, Takao Hoshino, Kentaro Ishizuka, Sono Toi, Ayako Nishimura, Shuntaro Takahashi, Sho Wako and Kazuo Kitagawa.

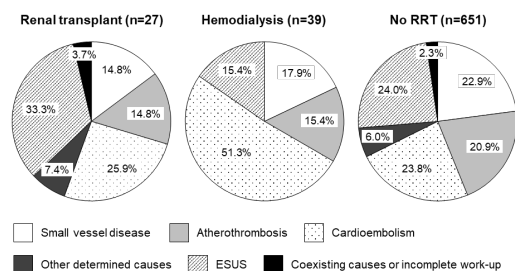
背景：末期腎不全に対する腎代替療法として透析や腎移植がある。これまで透析患者の脳梗塞については比較的よく研究されているが、腎移植患者の脳梗塞についての報告は少ない。今回我々は、当科に入院した生体腎移植を受けた脳梗塞患者における臨床的特徴と予後を調査した。

方法：2013年12月から2019年9月までにTWMU Stroke Registryに登録された717例の脳梗塞患者のうち、生体腎移植を受けた患者は27例、透析患者は39例であった。合併症、脳梗塞病型、血管イベント再発率、機能予後を比較検討した。

結果：脳梗塞の病型は、生体腎移植患者でESUS (embolic stroke of undetermined source)、透析患者で心原性がそれぞれ最も多かった。腎移植患者における脳梗塞後の複合心血管イベント再発リスクは、透析患者と比較して有意に低く、非腎代替療法患者とは差がなかった（年間再発率 11.3% vs. 28.2% vs. 13.1%; log-rank  $P = 0.019$ ）。脳梗塞発症1年後の機能予後は、腎移植患者、非腎代替療法患者に比べて透析患者で不良となる傾向があった。

結論：腎移植患者における脳梗塞メカニズムは透析患者と異なっており、さらに血管イベント再発リスクは、透析患者より低い可能性が示された。

### Etiologic subtype of ischemic stroke



### Kaplan-Meier curves for major cardiovascular events

